

本件の対外公表は
2024年3月25日
8時50分

BIS国際資金取引統計および国際与信統計
(日本分集計結果：2023年12月末)

参考図表

照会先

日本銀行金融市場局総務課市場統計グループ

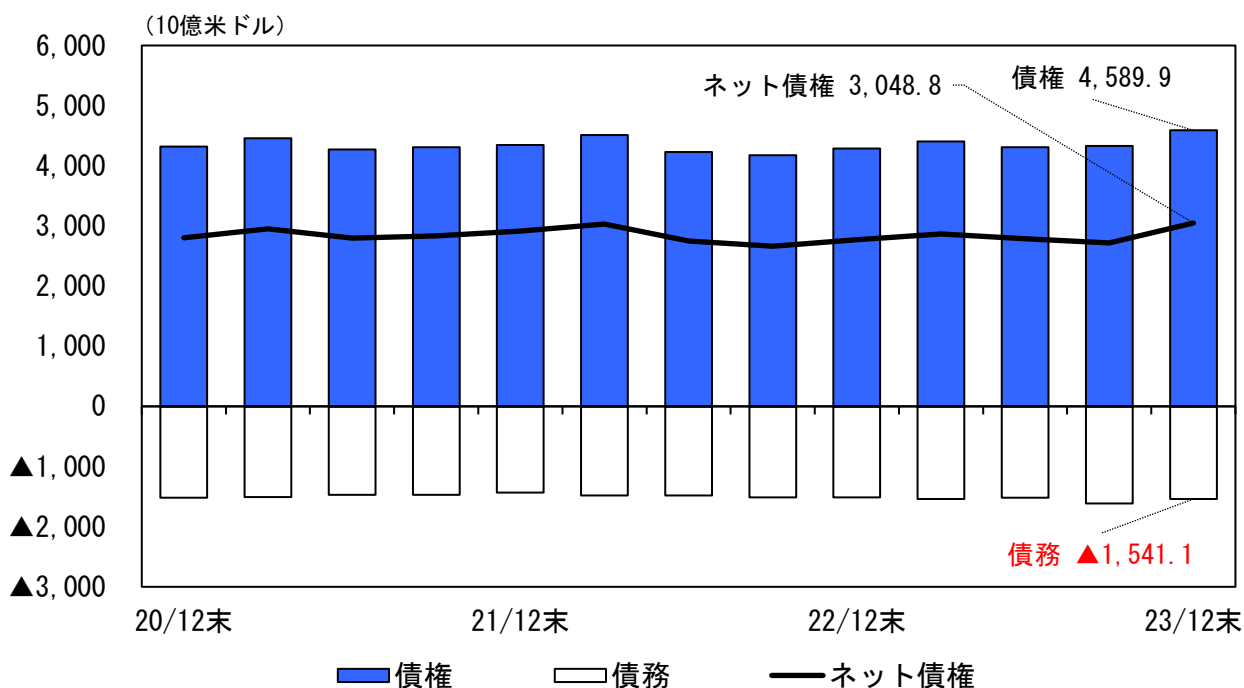
Tel：03-3279-1111（内線 2841）

電子メール：post.fmd@boj.or.jp

1. BIS国際資金取引統計

(1) 残高

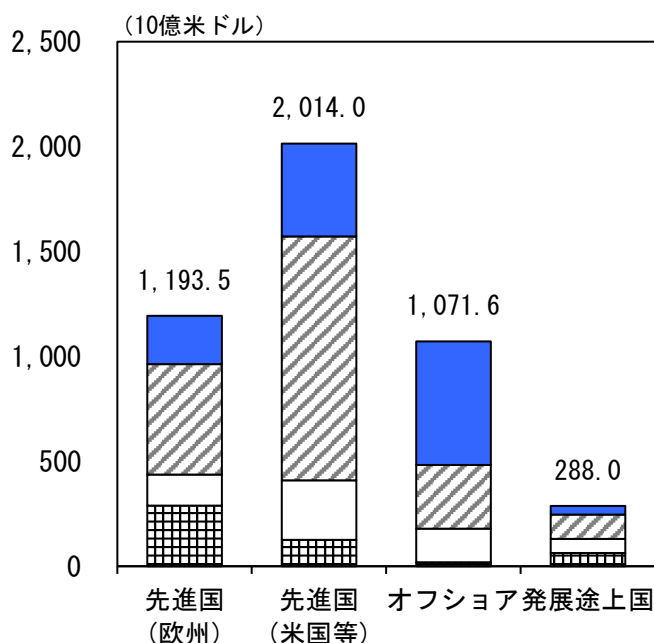
対外債権・債務残高の推移



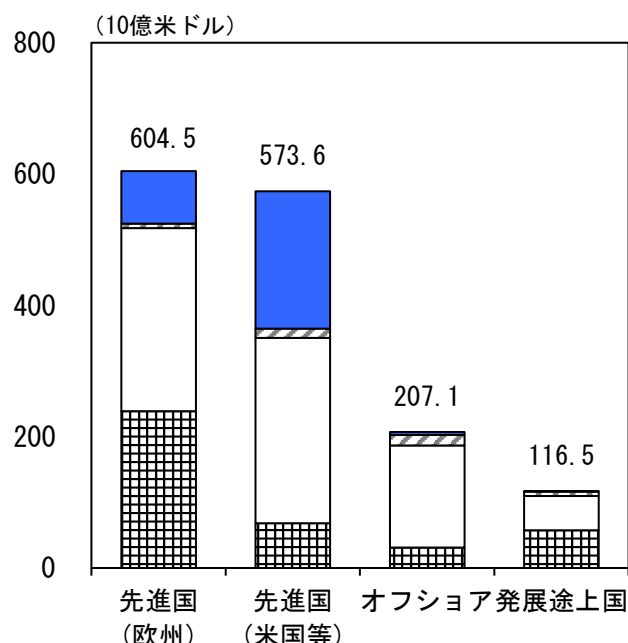
(注) 債権はプラス表示、債務はマイナス表示。

<地域・部門別>

グロス対外債権残高 (地域・部門別)



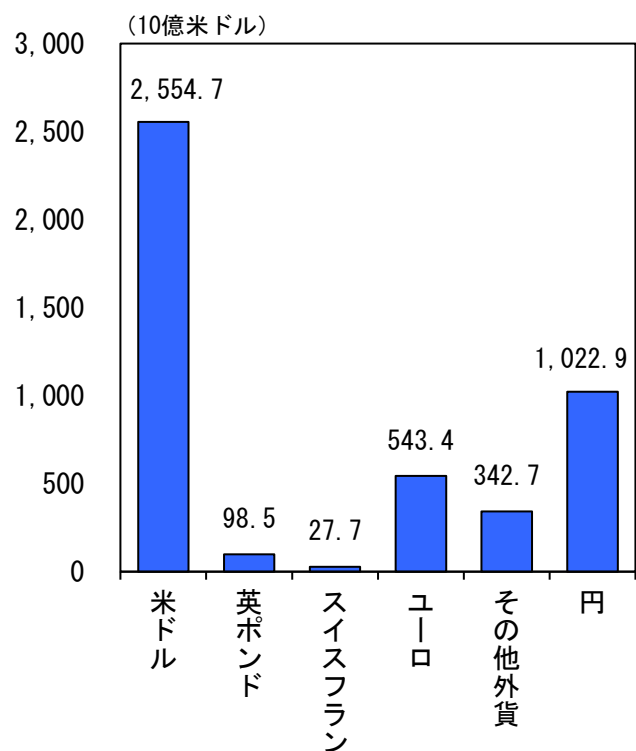
グロス対外債務残高 (地域・部門別)



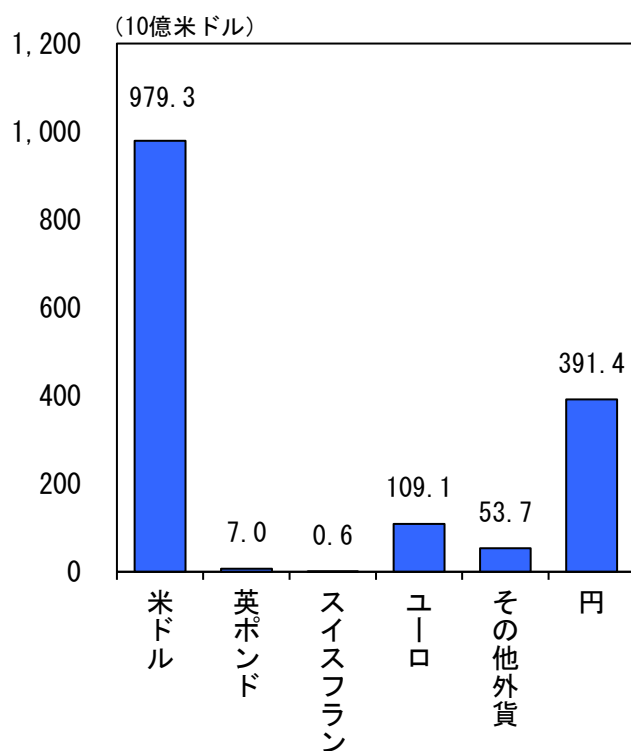
■ 非銀行・金融機関 ▨ 非銀行・非金融機関 □ 銀行・自行本支店 ▩ 銀行・他行

<通貨別>

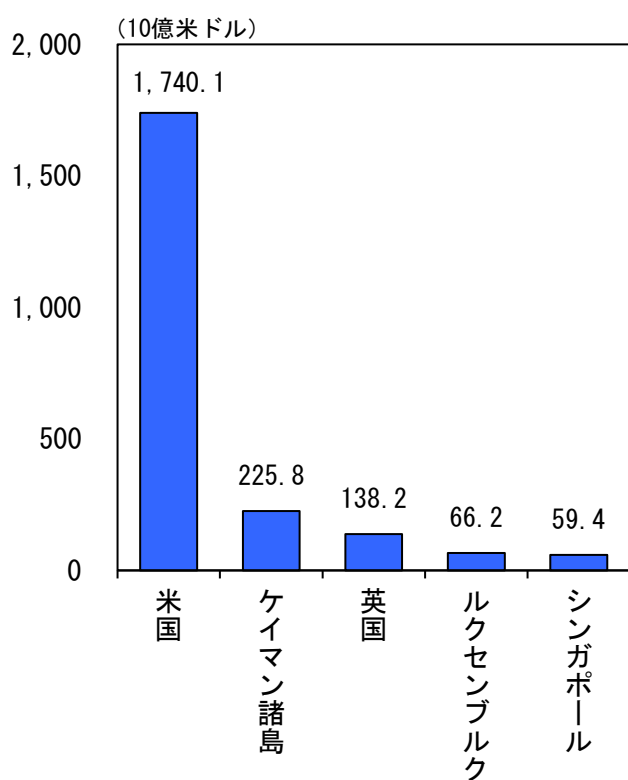
グロス対外債権残高（通貨別）



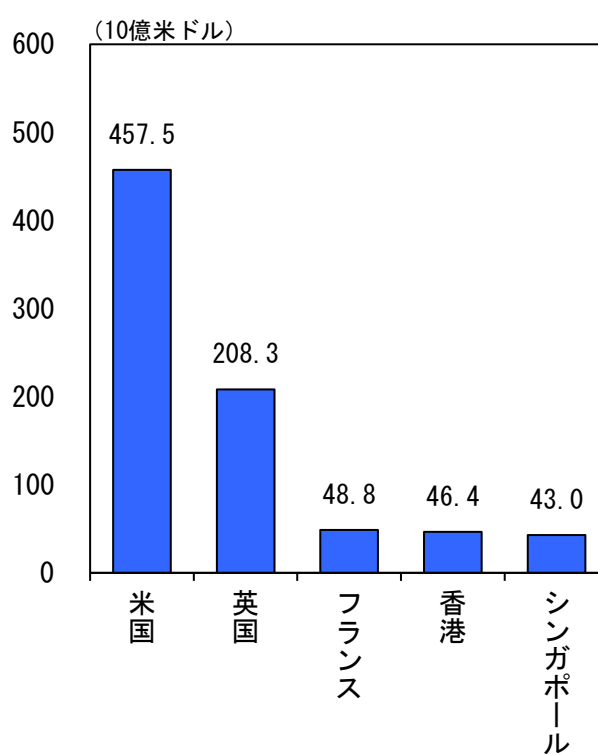
グロス対外債務残高（通貨別）



米ドル建て債権残高（主な相手先）

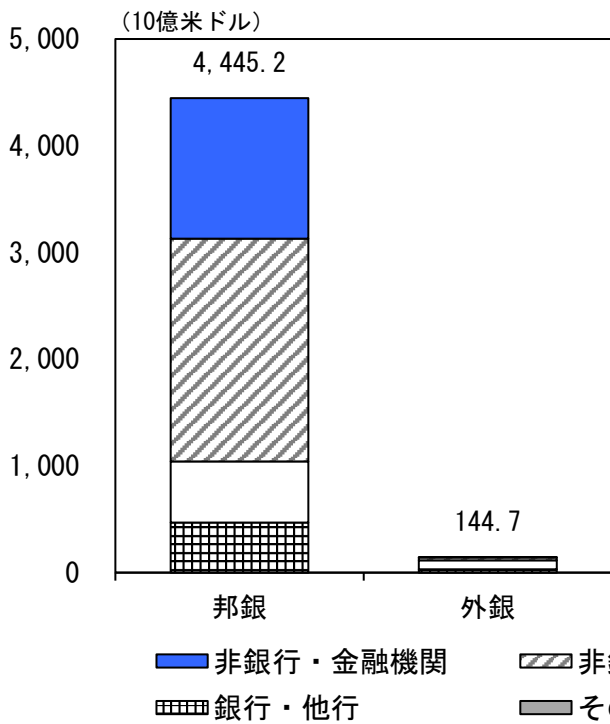


米ドル建て債務残高（主な相手先）

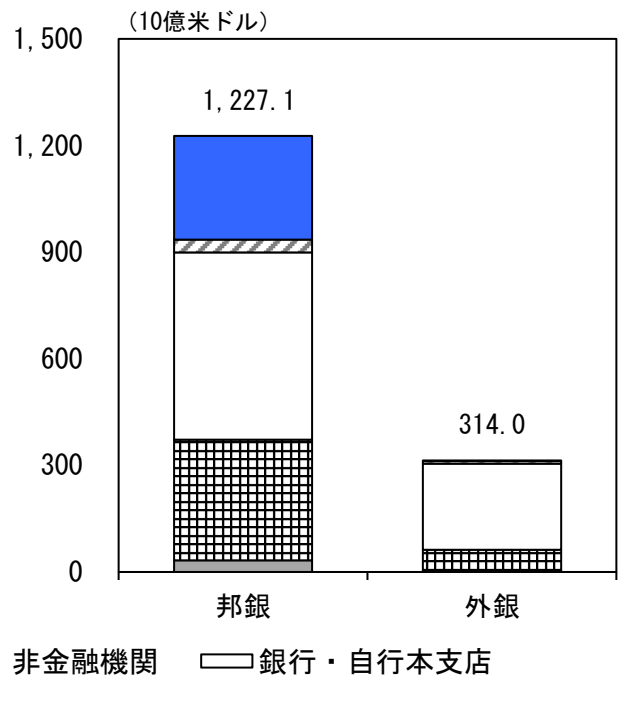


<邦銀/外銀別>

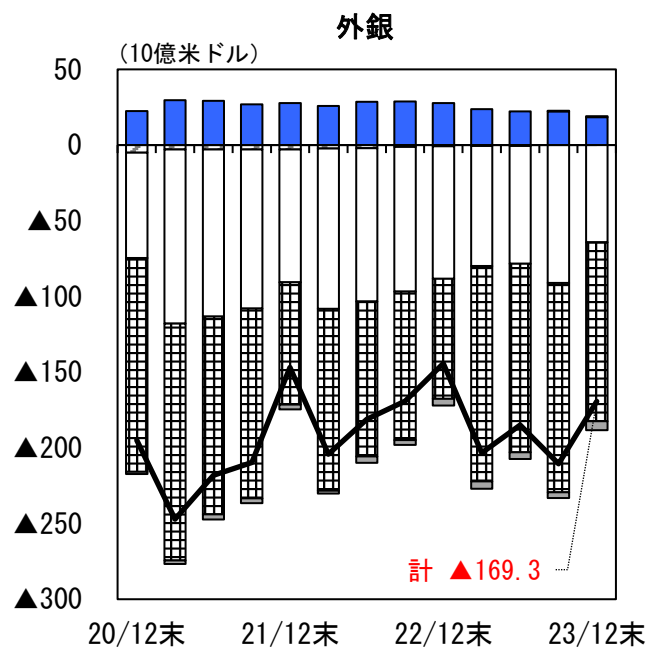
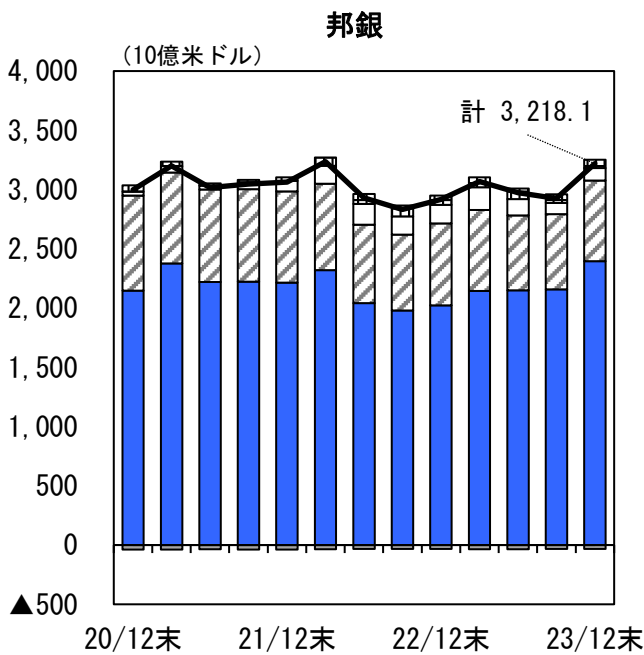
グロス対外債権残高（邦銀/外銀・部門別）



グロス対外債務残高（邦銀/外銀・部門別）



ネット対外債権（部門・通貨別）

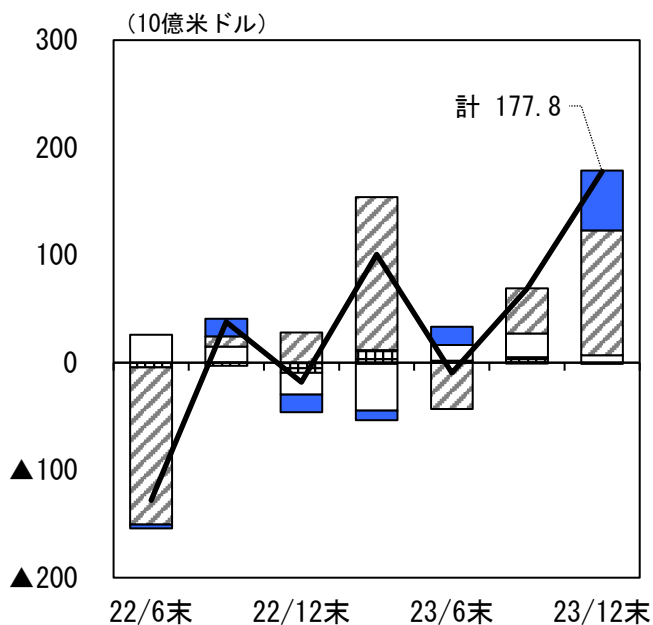


■ 非銀行(外貨建) 非銀行(円建) □ 銀行(外貨建) 銀行(円建) ■ その他 — 計

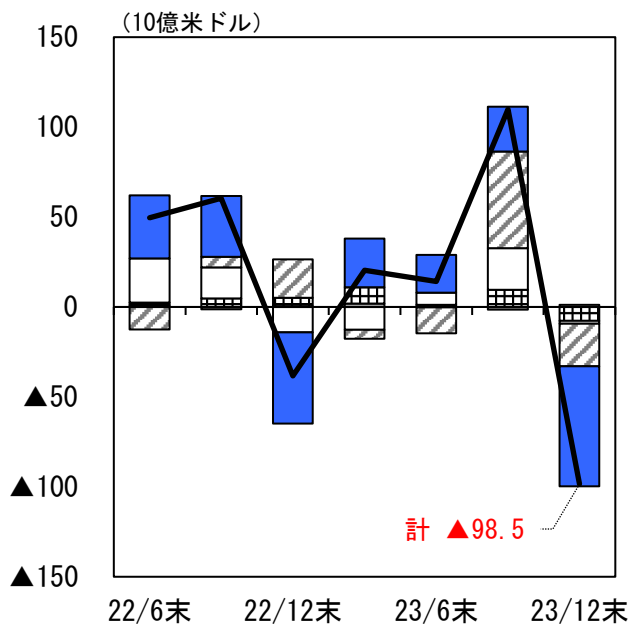
(注) ネットベースで債権はプラス、債務はマイナス表示。

(2) 前期からの増減¹

グロス対外債権
(為替調整済前期差・地域別)



グロス対外債務
(為替調整済前期差・地域別)



先進国(欧州)向け
 先進国(米国等)向け
 オフショア向け
 発展途上国向け
 その他向け
 計

グロス対外債権・債務の増減がみられた主な相手先

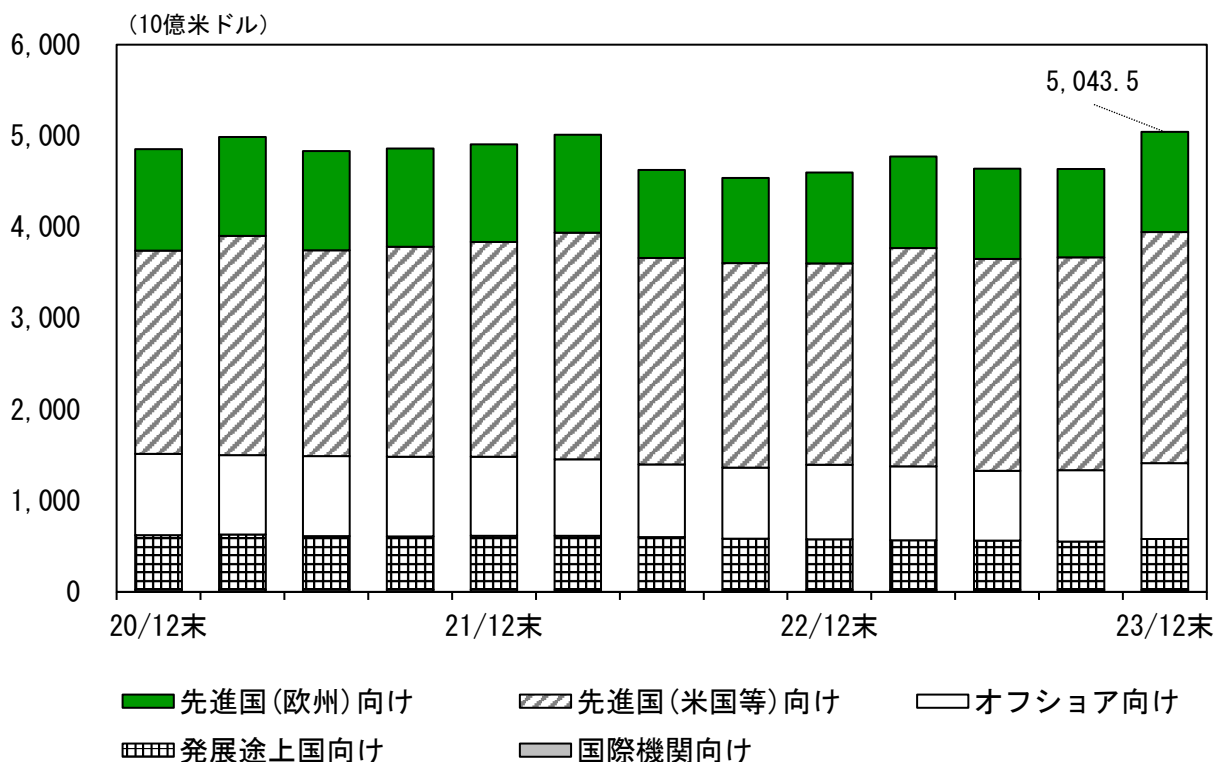
(為替調整済前期差、億米ドル)

	相手先	増加	相手先	減少
グ ロ ス 債 権	米国	+1,134	英国	▲74
	フランス	+143	香港	▲61
	イタリア	+137	中国	▲22
	ドイツ	+137	タイ	▲18
	ケイマン諸島	+107	ベトナム	▲6
	グ ロ ス 債 務	ベルギー	+50	英国
シンガポール		+21	フランス	▲322
韓国		+19	米国	▲247
スイス		+15	中国	▲58
オーストラリア		+14	台湾	▲27

¹ 為替調整済前期差は、原通貨建の残高の前期差を期中平均レートで米ドル建てに換算することにより、主要通貨(円、ユーロ、英ポンド、スイスフラン)の為替レートの期中変動を調整した参考計数。

2. BIS国際与信統計（最終リスクベース）

国際与信残高の推移（地域別）



先進国向け与信の増減がみられた主な相手先

(前期差、億米ドル)

相手先	増加	相手先	減少
米国	+1,805	ポルトガル	▲0
フランス	+245	エストニア	▲0
ドイツ	+234	スロバキア	▲0
英国	+208	—	—
イタリア	+184	—	—

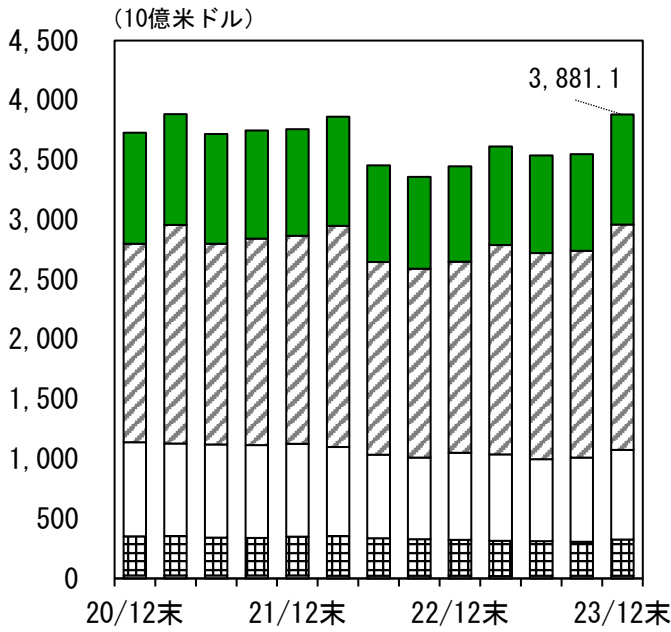
オフショア・発展途上国向け与信の増減がみられた主な相手先

(前期差、億米ドル)

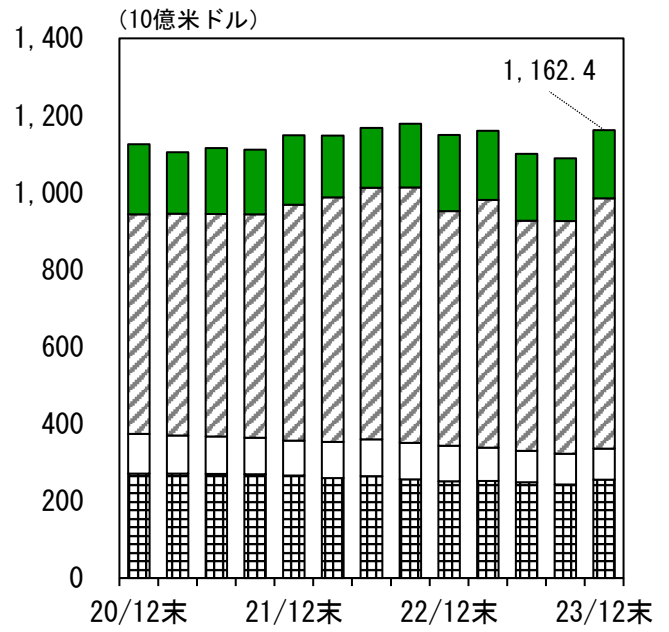
相手先	増加	相手先	減少
ケイマン諸島	+433	アラブ首長国連邦	▲9
中国	+57	香港	▲9
インド	+47	ロシア	▲3
シンガポール	+37	オマーン	▲2
韓国	+31	トルコ	▲2

<クロスボーダー/現地向け別>

クロスボーダー与信残高（地域別）



現地向け与信残高（地域別）



先進国(欧州)向け
 先進国(米国等)向け
 オフショア向け
 発展途上国向け
 国際機関向け

クロスボーダー与信の増減がみられた主な相手先

(前期差、億米ドル)

相手先	増加	相手先	減少
米国	+1,437	アラブ首長国連邦	▲7
ケイマン諸島	+433	オマーン	▲2
フランス	+242	南アフリカ	▲2
イタリア	+181	ロシア	▲1
ドイツ	+169	フィリピン	▲1

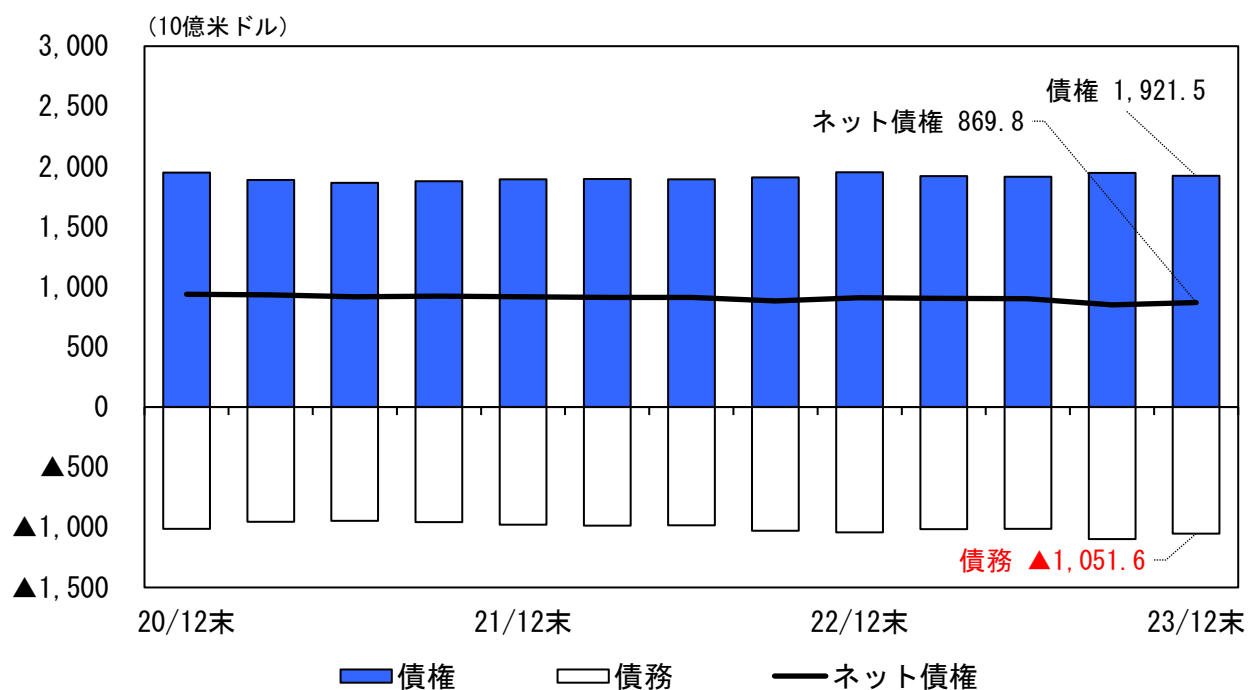
現地向け与信の増減がみられた主な相手先

(前期差、億米ドル)

相手先	増加	相手先	減少
米国	+369	ベルギー	▲14
英国	+95	香港	▲13
ドイツ	+65	アラブ首長国連邦	▲3
オーストラリア	+63	トルコ	▲2
中国	+57	ロシア	▲1

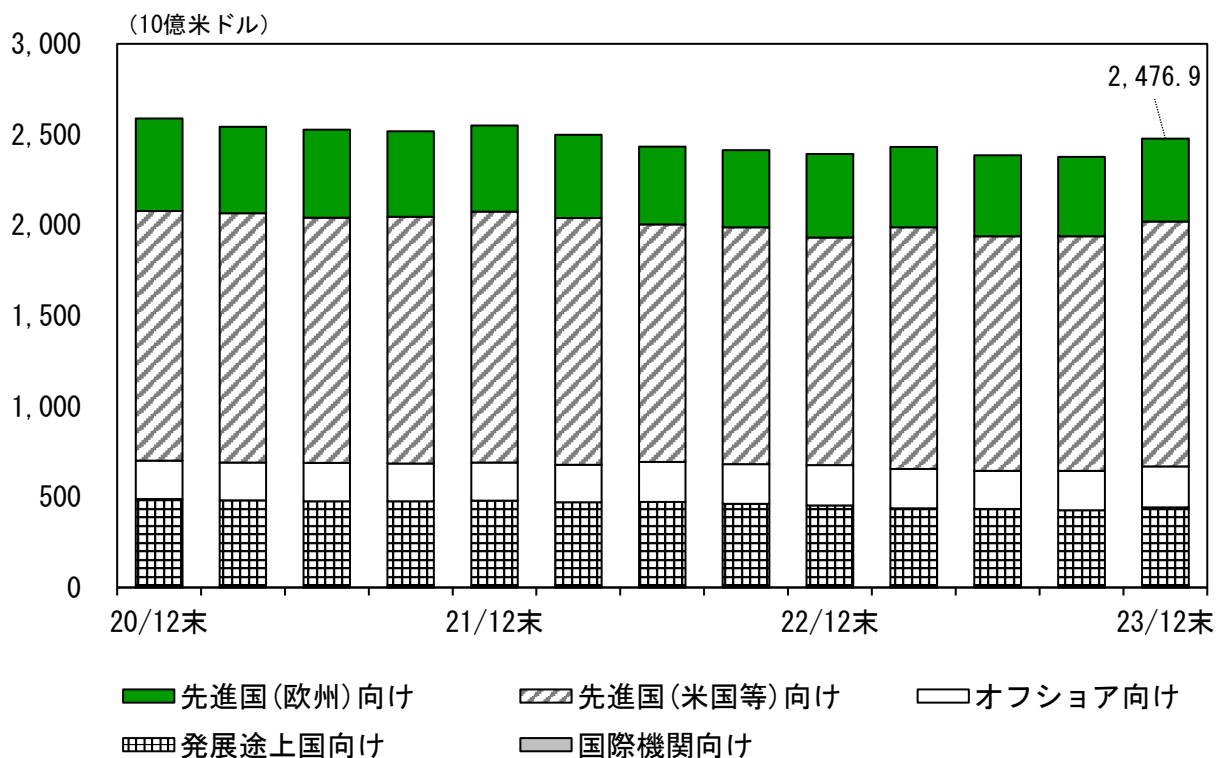
3. 邦銀（除く信託銀行）ベースの残高

(1) 対外債権・債務残高の推移



(注) 債権はプラス表示、債務はマイナス表示。

(2) 国際与信残高（最終リスクベース・地域別）の推移



(参考1) BIS国際資金取引統計(日本集計分)

本統計は、BISが四半期毎に公表するグローバル・ベース(48か国・地域)の統計(Locational Banking Statistics)の日本分の集計結果。

- ・対象金融機関・・・日本に所在する銀行のうち、原則として特別国際金融取引勘定(JOM勘定)承認銀行(外国銀行の在日拠点<支店・現法>を含み、邦銀の海外拠点<支店・現法>は含まない)。
- ・対象時点・・・・・・毎四半期末(3、6、9、12月末)時点。
- ・対象計数・・・・・・対象金融機関のオンバランス債権債務残高のうち、非居住者向け(円建て・外貨建て)を対象としている。債権債務残高には、信託勘定や、自行海外本支店および海外現地法人との取引残高を含む。
- ・部門分類・・・・・・公表データは、取引相手先の部門に応じて、銀行(うち本支店)、および非銀行(うち非銀行金融機関)に区分されている。

(参考2) BIS国際与信統計(最終リスクベース:日本集計分)

本統計は、BISが四半期毎に公表するグローバル・ベース(31か国・地域)の統計(Consolidated Banking Statistics)の日本分の集計結果。

- ・対象金融機関・・・・日本に本店を有する銀行のうち、原則として特別国際金融取引勘定(JOM勘定)承認銀行。
- ・対象時点・・・・・・毎四半期末(3、6、9、12月末)時点。
- ・対象計数・・・・・・対象金融機関(連結ベース)の国内本支店および海外拠点(支店・現法)のクロスボーダー与信残高、海外拠点(支店・現法)の現地向け与信残高を対象としている。ただし、信託勘定を含み、国内外の自行拠点向けの債権を含まない。
- ・与信の分類・・・・与信(非居住者向け債権)は、保証や担保を勘案した最終的なリスクが所在する地域・国別に区分され、例えば、英国現法向け与信に対して米国の親会社が保証を行っている場合、当該与信の最終リスクは米国に区分されている。

なお、現地向け与信には、海外支店・現法が実行する与信のうち、当該拠点が所在する国の債務者向け、かつ最終リスクも同国内向けであるものを計上している。
- ・部門分類・・・・・・公表データは、取引相手先の部門に応じて、公的機関、民間銀行、および民間その他(うち非銀行金融機関)に区分されている。